

平成26年度 地域密着型金融の取組結果について

平成27年6月



I. 全体的な取組内容

1. コンサルティング機能の発揮

- 平成26年度は経営改善支援強化として昨年度に引き続き「経営サポート強化支援」に取り組み、経営改善・事業再生支援に関するお手伝いを実施しています。また、外部機関との連携による事業再生支援や創業・新事業支援の強化に積極的に取り組みました。

2. 地域の面的再生への積極的参画

- 地域のお客さまの価値創造に向けた取組みとして、各種商談会・展示会の開催により地域のお客さまのビジネスチャンスを支援しました。また、北海道大学産学連携本部との連携による知見・ノウハウを活用しお客さまの専門的なご相談への対応も実施しています。
- 地域資源等の発信・価値創造に向けた取組みとして、次世代を担う人材との積極的な意見交換の実施等のため、従来の経営評議員会を発展的に組織改編し、若き経営者および次代の経営者の支援・育成に主眼を置いた創新会（i3フォーラム）を創設しました。
- KONSEN魅力創造ネットワーク3年目の活動として、根室・釧路管内で魅力ある「食」を売り出すために、FOOD EX JAPAN 2015に13企業・団体が出展しました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- ディスクロージャー誌は読み手に具体的なイメージがわかりやすく伝わるように、写真を充実させました。また、インターネットからの視認性・操作性を改善するため、当金庫ホームページに電子ブック形式のファイルを掲載しました。
- ビジネスレポートを年4回発行し、地域経済情報の発信を行っています。

4. 中長期的な取組みに向けた経営の健全化

- 法令等遵守の徹底は引き続き重要課題として取組み、自浄作用のある組織風土の醸成を図っています。
- 経営計画の進捗状況管理は、年度計画に対する各部署へのヒアリングを実施し、PDCAサイクルの実効性確保を行っています。
- 事務ミスへの改善対応として、堅確化を図った事務の定着確認を実施し、事務レベルの向上・平準化を図っています。
- 業務効率化・全体最適化を目的として、電子決裁システム、為替集中システム、営業支援システムの運用を開始しました。
- リスク管理態勢では、継続的に危機管理訓練を実施し、不測の事態に備えた態勢整備を行っています。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

1. コンサルティング機能の発揮 (1)

① 経営改善支援の強化、創業・新事業支援

具体的な取組	実施内容									
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 経営改善支援の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営サポート強化支援先58先を選定し、経営改善支援へのモニタリング、コンサルティングを実施 ・ 中小企業支援ネットワーク（経営サポート会議へ出席） 									
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 創業・新事業支援 案件情報の収集・ハンズオン支援 目標： 30件 300百万円 	<table border="0"> <tr> <td>・ 創業支援</td> <td>15件</td> <td>79百万円</td> </tr> <tr> <td>・ 新事業支援</td> <td>10件</td> <td>617百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25件</td> <td>696百万円</td> </tr> </table>	・ 創業支援	15件	79百万円	・ 新事業支援	10件	617百万円	合計	25件	696百万円
・ 創業支援	15件	79百万円								
・ 新事業支援	10件	617百万円								
合計	25件	696百万円								

② 商談会開催等 販路開拓の支援

具体的な取組	実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 商談会・ビジネスフェアへの参加 国内外への販路開拓支援 ビジネスチャンスの創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シティスーパー・大丸松坂屋との商談会（釧路市）10社出展 ・ ドバイレストラン高橋オーナーシェフとの商談会（中標津町）12社出展 ・ 水産物・食品輸出商談会in根室 7社出展 ・ 食の商談会in香港 3社出展 ・ 信金発！地域発見フェア 1社出展 ・ 富士山・東北北海道ビジネスマッチング 7社出展 ・ 沖縄大交易会 2社出展 ・ FOOD EX JAPAN 2015 13企業・団体出展

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

1. コンサルティング機能の強化 (2)

③産学連携による技術課題等への対応

具体的な取組	実施内容
▶北海道大学産学連携本部との連携協定に基づく知見・ノウハウの活用	<ul style="list-style-type: none"> 企業技術課題への対応 5件 (ハイブリット木柵、エミュー油、機能性表示制度活用について、商品開発について)

④顧客の実態に即した効果的な資金提供

具体的な取組	実施内容		
▶多様な金融手法の活用による顧客ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 私募債 3件 400百万円実行 		
▶目利き力発揮による担保に依存しない融資の実践	<ul style="list-style-type: none"> 店長専決特別融資 目標 70件 250百万円 実績 114件 357百万円 		
▶成長分野事業に対する積極的支援	<ul style="list-style-type: none"> 成長分野融資 目標 50件 2,500百万円 実績 19件 927百万円実行 ※別途医療・介護向け融資 17件 170百万円実行 		
▶経営課題解決に対する資金対応	<ul style="list-style-type: none"> この街応援資金 目標 30件 100百万円 実績 3件 10百万円 		
▶一次産業への支援強化	<table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 農業分野 目標 30件 500百万円 実績 33件 355百万円実行 </td> <td style="border-left: 1px dotted black; padding-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 漁業分野 目標 20件 200百万円 実績 18件 129百万円実行 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> 農業分野 目標 30件 500百万円 実績 33件 355百万円実行 	<ul style="list-style-type: none"> 漁業分野 目標 20件 200百万円 実績 18件 129百万円実行
<ul style="list-style-type: none"> 農業分野 目標 30件 500百万円 実績 33件 355百万円実行 	<ul style="list-style-type: none"> 漁業分野 目標 20件 200百万円 実績 18件 129百万円実行 		

Ⅱ．重点項目と具体的な取組内容

1. コンサルティング機能の強化 (3)

⑤コンサルティング機能強化にむけた人財育成

具体的な取組	実施内容
▶環境の変化に適応した能力醸成、 専門人材の育成	人財育成ロードマップ、自己成長目標により、通信教育、検定資格、各 部による派遣研修の実施、サポートを継続
▶中小企業診断士の経営・ノウハウ の活用・経営支援指導研修等への派 遣	<ul style="list-style-type: none">・臨店による指導(6・9月)・個別案件ごとに対応した営業店指導・同行訪問・各商談会への職員派遣・経営改善計画書作成研修・セクター分析研修(10月建設業・2月介護事業)。
▶マイスターのスキルアップ、職員 レベルの向上	<ul style="list-style-type: none">・マイスター制度の一部改正(役割の再定義など)・りそな銀行への職員派遣研修(接遇・マナーインストラクター研修)・東京海上日動火災保険への職員派遣研修・ライフプランシミュレーションシステム導入によるブロック研修・預かり資産担当スタッフ研修
▶金庫内研修、外部研修の活用によ る計画的な人財育成の実施	<ul style="list-style-type: none">・自己査定基礎研修・認知症予防、高齢者ケア音楽レクリエーション指導士研修・研修DVDの活用

Ⅱ．重点項目と具体的な取組内容

2. 地域の面的再生への積極的な参画 (1)

①地域経済の活性化に向けた取組み

具体的な取組	実施内容
▶次世代を担う人材との積極的な意見交換の実施・新たな収集方法の検討	経営評議員会を発展的に組織改編し、若き経営者および次代の経営者の支援・育成に主眼を置いた創新会（i3フォーラム）を創設。 ・7/14 第1回創新会開催（中標津町：講師 伊藤 聡子 氏） ・2/10 第2回創新会開催（釧路市：講師 上甲 晃 氏）
▶地域資源・経営資源の活用 （KONSEN魅力創造ネットワークによる取組み強化、構成員の更なる充実）	本年度の商談会・展示会は、6事業を柱に事業展開 ・6企業、1自治体が新たにメンバーに参画 ・課題解決に向けたセミナーの開催、共催 KONSEN(根釧)魅力創造ネットワークセミナー 知的財産活用セミナーin釧路
▶他信用金庫、金融機関との連携	・コザ信用金庫（本店：沖縄県沖縄市）の商店街活性化事業に対し当地域の商品を提供 ・信金ネットワークを活用した「信金発！地域発見フェア」への参加（東京ドーム）
▶包括連携協定等に基づく事業の実施	・釧路総合振興局および根室振興局の後援により商談会を開催 ・KONSEN(根釧)魅力創造ネットワークの連携強化

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

2. 地域の面的再生への積極的な参画 (2)

②地域の将来を担う人材の育成・企業力向上支援

具体的な取組	実施内容
▶ 大地みらい基金の助成活用による 中小企業大学校派遣	・ 中小企業大学校派遣実績 3名
▶ 北海道大学との産学連携事業活用 上級教育プログラムを実施	・ 上級学校訪問を実施 北海道大学工学研究院 中西別中学校生徒 3名 ・ 北海道大学特別出前講座を実施 (厚岸翔洋高等学校) テーマ「健康な魚を放流するための取組みと漁獲物の安全性確保」
▶ 札幌医科大学との包括連携協定による 連携事業の開催	・ 札幌医科大学との連携協定事業「第2回メディカル・カフェ with 大地みらい信用金庫」を本店にて開催 テーマ「いつ聞くの? 今でしょ! ~気になる認知症の話~」 講演者: 神経内科学講座 助教 齋藤 正樹氏 根室市約50名が参加

Ⅱ．重点項目と具体的な取組内容

2. 地域の面的再生への積極的な参画 (3)

③地域貢献に向けた取組み

具体的な取組	実施内容
➤ 地域貢献事業の検討・準備	札幌市地下歩行空間（チ・カ・ホ）での地域事業の開催に向けて、2市10町1村各自治体へ地域PRの場としての提案を実施。
➤ 地域の課題に対する協働事業の検討・実践	<ul style="list-style-type: none">・ 根室管内1市4町との地域課題への対応として、地域課題を研究テーマとした大学ゼミを誘致する「インカレ根室事業」の専門委員として企画を実行。・ 釧路市との定期的な情報交換、産業推進行政への助言を実施。
➤ ロビー等店舗施設の活用	<ul style="list-style-type: none">・ 五月人行展、絵手紙展示、写真展、コンサート等16事業を実施。
➤ 地域行事への積極的参加 ➤ 文化スポーツ活動への支援	<ul style="list-style-type: none">・ 各種地域行事への参加・ くしろ霧フェスティバル、羅臼こんぶフェスタ、ご当地ブランドフェスタ、児童生徒音楽大会、劇団公演、マラソン大会、少年野球大会、サッカー少年団大会などを支援。

Ⅱ. 重点項目と具体的な取組内容

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

当金庫の経営内容・取組み等に関する情報発信

具体的な取組	実施内容
▶ ディスクロージャー誌の充実	<ul style="list-style-type: none">・読み手に具体的なイメージがわかりやすく伝わるよう、写真を充実（役員顔写真の新規掲載など）・インターネットからの視認性・操作性を改善するため、当金庫ホームページ上に電子ブック形式のファイルを掲載・札幌地区出店を踏まえたミニディスクロージャー誌を作成
▶ ホームページを活用した情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none">・ホームページにて平成25年度地域密着型金融による取組み結果を公開
▶ 地域経済情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・経済概況・ビジネスレポートの発行（年4回） ビジネスレポートはホームページ上にも掲載し、情報発信を実施。

Ⅱ．重点項目と具体的な取組内容

4．中長期的な取組みに向けた経営の健全化（1）

①法令等遵守の徹底、経営管理・ガバナンス

具体的な取組	実施内容
▶法令等遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none">・コンプライアンスプログラムに基づき、自浄作用のある組織風土の確立をめざし、法令遵守を経営の最重要課題として掲げ、役員をはじめとして各部署より会議、研修などあらゆる機会を通じて啓蒙。・苦情・トラブルの根本的な原因を徹底的に分析し再発防止策を実施するとともに、四半期毎に公開して経営資源化を推進。・外部機関と連携し反社会的勢力の入口・中間段階での遮断強化、既存口座の強制解約など出口対応の強化を徹底。・監査法人サポートのもと、外国口座税務コンプライアンス法（FATCA）に関する規程・要領を制定し、営業店への周知実施。・26年度における反社会的勢力との取引謝絶8件、既存反社会的勢力口座の取引解消16件。札幌地区の反社会的勢力情報の整備。
▶経営管理・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none">・理事長、専務理事にて年度計画に対する各部ヒアリングおよびPDCAサイクルの状況把握を実施・臨店を通じて、地域密着型金融に関する理解度の確認、店質を活かした推進および職員に対する啓蒙について指導を継続。・総代会・経営評議委員会の開催

Ⅱ．重点項目と具体的な取組内容

4．中長期的な取組みに向けた経営の健全化（2）

②リスク管理態勢

具体的な取組	実施内容
▶事務ミスデータの要因分析、改善対応	<ul style="list-style-type: none">・堅確化を図った事務の定着確認テスト年4回実施。不合格者には再試験を実施し、レベルの平準化を図った。・事務ミス削減のため、事務ミス事例集やFAQの更新公開、預金コミュニケーションネットワークの組成、事務基礎ツールの公開。
▶規程・要領の見える化への取組み	<ul style="list-style-type: none">・規程・要領の見える化運用を実施し、60本の事務取扱要領をシステム上にてフロー化。
▶オペリスクの評価、モニタリング、コントロール等にむけた取組み	<ul style="list-style-type: none">・事務ミス内容の公開による未然防止ポイントおよび同様事例のミス削減を周知。・不備の多い事務に対する事務取扱要領の改正、事務基礎ツールの公開、研修DVDの作成等による事務ミス削減および基礎知識の向上を図った。
▶業務改革プロジェクトによる業務改善への具体的な取組み	<ul style="list-style-type: none">・業務効率化・全体最適化を目的とした業務改革のため、ペーパーレス化を推進し、電子決裁システム・為替集中システム・営業支援システムの運用を開始。・自動現金精査バスの導入による現金管理事務の省力化を実施。

Ⅱ．重点項目と具体的な取組内容

4．中長期的な取組みに向けた経営の健全化（3）

②リスク管理態勢

具体的な取組	実施内容
▶リスク統括部会の運営・市場リスクへ機動的な意思決定態勢構築	リスク管理ミーティングを発展的に解消し、副部長職以上を中心としたリスク統括部会を設置し、機動的な意思決定かつ議論の活性化を図った。
▶継続的な危機管理訓練の実施	不測の事態に備えて、継続的な危機管理訓練を実施 ・風評による流動性危機を想定した訓練（7月） ・内国為替障害訓練（9月・2月） ・共同センターシステム障害に対する東日本センター障害対応訓練（9月） ・インターネットバンキングの取引障害に対応する業界合同障害訓練（12月）